

日本歯科麻酔学会最優秀発表賞（デンツプライシロナ賞）の募集について

日本歯科麻酔学会は、平成 15 年度より年次学術集会において発表される一般演題のうち、優れた研究発表を行なった研究者および研究発表に対して、日本歯科麻酔学会最優秀発表賞（デンツプライシロナ賞）を表彰しており、本会学術集会開催時の会員懇親会において、賛助会員のデンツプライシロナ株式会社から賞牌が筆頭発表者に授与されます。

同賞に応募していただくには、演題登録時に同賞にエントリーする必要があります。

応募は、筆頭演者 1 人につき 1 題とし、発表形式は口頭発表となります。

エントリーされた演題について、事前に一次審査を行います。一次審査は、学術集会会長、理事長、および学術委員会により行われ、臨床部門、基礎部門、それぞれ 6 演題程度に絞らせていただきます。臨床部門の演題につきましては、各施設における倫理委員会による承認を受けている必要があります。また症例報告は対象から除外しますので、ご注意ください。

一次審査の結果、選考された演題を学術集会初日の午前中に発表していただき、そこで二次審査を行い、最終的に同賞の基礎部門 2 演題、臨床部門 2 演題を決定します。

なお、二次審査では、5 つの項目（研究目的、独創性、学術的意義、発表の完成度、プレゼンテーション能力）が評価対象となります。

多数のご応募をお待ちしております。

なお、一次審査の段階で、選考されなかった演題につきましては、一般演題となり、その採否は学術集会会長により決定されますので、予めご了承下さい

一般社団法人日本歯科麻酔学会

理事長 飯島 毅彦

学術委員会

委員長 宮脇 卓也